

継続事業評価シート

評価実施日 令和3年3月31日

令和2年度(4年目)

Table with 10 columns: 事業コード, 5, 事業名, 創業・新分野進出支援事業, 戦略コード, 1, 戦略名, 育て・挑戦を支える商工会, 担当部名, 企業振興部, 担当課名, 経営支援課, 担当課長名, 佐々木隆太, 施策コード, 3, 施策名, 新たな可能性にチャレンジする創業・新分野進出の推進

【事業内容】

1. 事業実施当初の背景

商工会地域では、少子高齢化や人口減少、マーケットの縮小による事業者の減少に歯止めがかからず、創業支援や新分野進出等の支援による地域経済の維持が求められている。

2. 事業のねらい

創業や新分野進出を一層促進し、地域に活力を創出していくため、新たな可能性にチャレンジする創業者・事業者に対し、これまでの取組を更に強化する。

3. これまでの評価結果

Table with 8 columns: 過年度, H29, -, H30, B, R1, A, R2

創業希望者への情報提供や計画策定支援が的確に行われており、創業実現につながっている。また、支援機関として必要な施策情報の提供と更新を随時行いながら、起業支援補助金の活用を支援し、目標を上回る成果へつなげることができた。

4. 昨年度の評価(対応方針)に対する対応

Aターン枠や地域課題解決枠など県の起業支援事業費補助金の制度拡充が進む中、申請窓口として商工会と県をつなぎ、商工会による円滑な申請と実行支援をフォローする。

【取組評価】

Table with 7 columns: 取組コード, 取組, 実績, 必要性, 有効性, 効率性, 総合評価. Rows 11-13.

評価指標と実績 達成度: a(達成率が100%以上)、b(100%未満80%以上)、c(80%未満)

Table with 17 columns: 取組コード, 12, 取組コード, 12, 取組コード, 13, 指標名, 創業支援件数, 指標名, 創業件数, 指標名, 新分野等への取組件数, 年度, H29, H30, R1, R2, R3.

【事業評価】

1. 3つの観点からの評価

【必要性の観点】 現状の課題に照らした妥当性 【取組評価】の必要性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定6割以上の場合) a

〈評価の理由〉

創業支援や新分野進出等の支援による地域経済の維持・活性化という課題に対して、創業希望者等への情報提供や商工会の計画策定支援が的確に行われていることから、事業の必要性は高い。

【有効性の観点】 事業目標の達成状況 【取組評価】の有効性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定6割以上の場合) a

〈事業の目標は達成されているかどうか〉

創業希望者へのきめ細かな支援により128件の創業を実現させたほか、経営革新等の取組も112件を数えるなど目標を大きく上回る成果を達成できていることから、事業の有効性は高い。

【効率性の観点】 コスト(金銭・時間・人材)縮減のための取組状況 【取組評価】の効率性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定6割以上の場合) a

〈コスト縮減に向けた具体的な取組内容または取り組んでいない理由〉

創業者への情報提供や専門家派遣などコストを最小限に抑えた支援を行ったことにより、費用対効果の高い取組となった。また、県や市町村の支援施策の活用提案を行ったことで、商工会・県連合会の金銭的負担が無い中で、事業者メリット・満足度の高い取組が実施できた。

2. 総合評価・理由 A(順調)3つの観点の評価結果がすべてa判定の場合 B(概ね順調)A、C以外の場合 C(改善が必要)3つの観点の評価結果がc判定2つ以上の場合 A

新たな取組へ果敢にチャレンジする事業者に対して、専門家派遣事業や各種支援施策の情報提供・活用提案を行い、新分野進出等の実現につなげた。

3. 課題

ポストコロナ時代を見据えた経営の多角化や経営革新など、事業の再構築を支援していく必要がある。

4. 今後の対応方針(改善点)

ポストコロナ時代を見据えた事業の再構築等の支援を推進するため、先進事例の収集と提供を通じ事業者の意識を啓発するとともに、「経営アシスト会議(仮称)」を活用し商工会職員のサポートを図る。